

粘菌世界に遊ぶ！

6月24日（土）北本自然学習センターで「粘菌」の研修会が14名の参加者のもと、センターの田留健介先生の指導の下、パワポの講義と野外での採集、



田留先生のお話

室内にもどっての同定作業の日程で開催された。

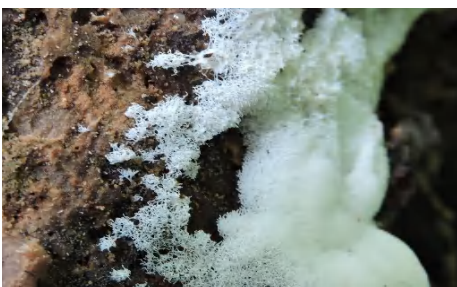
今回の研修で私的に解ったことは

1. 粘菌は変形菌とも呼ばれ菌と名が付くが、キノコやカビなどのいわゆる菌類ではなく、植物でもなく動物でもない不思議なものであるとしか言いようがないこと。
2. かつては「〇〇ホコリカビ」と名付けられていたが、菌類じゃないんだからカビと付けるのはおかしいと菌類学者からクレームがあり、今は〇〇ホコリと呼ばれているらしいこと。
3. かの「知の巨人」南方熊楠が生涯を通じて研究に打ち込んだものの一つであることから、それを学ぶのがある種のステータスであること。
4. かの宮崎駿監督の「風の谷のナウシカ」にも登場し、ストーリーの中でとても重要な役割を果たしているらしいこと。（それ！ツタヤにGO!）
5. かの北海道大学中垣俊之教授らの粘菌を使った実験が「人々を笑わせ、そして考えさせる研究」に授与されるイグノーベル賞を二度も受賞したこと。（文春新書「粘菌 偉大なる単細胞が人類を救う」に詳しい）である。結局のところ粘菌の何たるかには迫り切れず何ともミーハー的な感想ばかりだが、粘菌は現実的に身のまわりにいくらでもあること、そしてそれはたやすく採集でき観察できるものであることが解り、いつか観察会のネタにできそうということが解っただけでも大収穫である。以下は当日コンパクトデジカメで撮影した素人画像である。（誰でもこれくらいは簡単に撮れる証しです。）



怪しげな集団の野外作業

事務局金子



ツノホコリ



ホネホコリ



モジホコリ



ジクホコリ

